

# 「誰にでも分かりやすく!」

12月5日の児童集会では、放送委員会が日頃の取り組みについて発表しました。

放送委員会の今年の目標は、「1年生から6年生まで、すべての人に分かりやすく発表する」だそうです。

そのために、1学期は、「ゆっくりはっきり話すこと」を心掛けて、朝やお昼の放送を行ったそうです。

今日の集会では、委員が紹介した「早口言葉」を全校児童が復唱する取り組みも行われ、「難しい」「早すぎ」「できた!」などの言葉が児童から聞かれました。

児童集会は、当然のことながら児童主体の集会で、委員会の時間等を使って、児童たち自らが「考え、企画し、実行する」活動です。

集会を終えた放送委員会児童の満足そうな笑顔が印象的でした。



みんなも言ってみよう!

「なまむぎ、なまごめ、  
なまバナナ、  
なまたまご」



みんなも言ってみよう!

「きゅうに  
きゅうり9ほんくっ子  
きゅうそう」



みんなも言ってみよう!

「シカもカモシカも  
シカのなかまだ。  
しかしあしかは  
シカではない。」



みんなも言ってみよう!

「なまなまず、  
なまなまこ、  
なまなめこ」



みんなも言ってみよう!

「赤パジャマ、  
きパジャマ、  
ちゃパジャマ」



みんなも言ってみよう!

「この子なかなか  
カタカナかけなかつた  
な。  
なかなかかったかな？」





「ブタがブタをぶったら  
ぶたれたブタが  
ぶったブタをぶったの  
で、ぶったブタとぶたれ  
たブタがぶったおれた。」

A student in a blue tracksuit stands on a stage next to a large projection screen. The screen displays a Japanese text block about a pig pun.

「マサチューセッツ州の  
老若男女は、派出所で  
骨粗鬆症の手術を受けている  
親亀、子亀、孫亀の  
ニュースを見て、マダガス  
カルは、まだ助かると言っ  
ている。」

A student in a blue tracksuit stands on a stage next to a large projection screen. The screen displays a Japanese text block about osteoporosis surgery and turtles.

